

「光医療産業バレー」けいはんな国際フォーラムの開催について

現在、粒子線によるがん治療は、外科手術と並ぶ治療成績を収めるようになってきています。

「切らずに治す」治療のため、患者の器官機能の損傷や痛みが少ない、術後の回復が早いなどの高い「生活の質」(QOL)を誇っています。しかし現状では、その治療器が大型で建設コストが高いため設置数が少ない、粒子線治療の費用が高いなどの課題があり普及には至っていません。

この問題を医療とそれを支える物理(光科学)の両面からのイノベーションで解決出来ないか? この課題の解決策を探るために今回の国際フォーラムを企画致しました。

本フォーラムでは、夢のがん治療といわれる粒子線治療について、最先端技術の研究・医療に携わる講師陣を国内外からお招きして世界の動向、現状を探ります。また、市民の皆様にご覧にがん治療、医療の問題により関心を深めて頂く機会となるよう、国立がんセンター中央病院 土屋院長の「がん治療の最前線」と題した基調講演や、「がん、生活習慣病対策の最近の話題と効果的予防」と題したパネル討論も開催します。

1. 日 時 平成 18 年 11 月 14 日(火) ~ 15 日(水)
2. 会 場 京都府相楽郡精華町光台 1 丁目 7 けいはんなプラザ (TEL : 0774-98-2240)
3. 主 催 けいはんな新産業創出・交流センター、ビーム物理研究会、(独)原子力機構
4. 共 催 日本学術会議近畿地区会議、(財)関西文化学術研究都市推進機構、(株)けいはんな
5. プログラム 以下の通り

11月14日(火) 10:00~16:50

- ・ **基調講演** 【がん治療の最前線】
国立がんセンター中央病院院長 土屋 了介氏
- ・ **テーマ講演** 【レーザー加速と粒子線治療】
(独)日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所長 田島 俊樹
- ・ **講演** 世界の粒子線がん治療の現状 日米独から 3 件
- ・ **パネル討論** 【粒子線がん治療の技術革新への期待】

11月15日(水) 9:30 ~ 16:30

- ・ **レーザー駆動粒子線加速先端技術セッション** 日米仏露から 7 件
- ・ **市民向講座**
パネル討論 【がん・生活習慣病対策の最近の話題と効果的予防】

6. 参加申込方法

参加ご希望の方は、FAX 又はインターネット経由で申込み下さい。

詳細は、<http://www.apr.kansai.jaea.go.jp/jaea/photovalley/InterForum0611/>